

スピリチュアル物語

56話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

トランスマリ奥特内スターボックス(要予約):1時間 \$60

メール相談:(要予約):majyotomoe@gmail.com \$16/1件(Paypal)



「前回、怒りの6秒ルールについて話してくれたけど、6秒間思考をフリーズさせ、無理にでも口角を引き上げ笑顔を作り、大丈夫大丈夫と繰り返し、自分で自分の頭をポンポンと撫でてでも怒りが収まらない場合はどうしたらいいんだい？」今週号ではウィザットがまず口火を切る。「怒りの対象である相手や事柄から物理的に離れることが出来ればその場から立ち去る。水を飲む。ブルブルまたはユラユラ体操で身体を揺らす」マグワートの言葉に、「それが出来ない状況だったら？」マジョリアルが更に掘り下げる。

「その場合は、自分から怒りの感情だけをポンと切り離して脱ぎ捨てるイメージを持つ。そうすれば、脱ぎ捨てた怒りは怒り処理専門の天使が回収して持ち去ってくれるんじゃないよ」「でも、それは一過性の怒りだと思っただけで、いつまでもぶり返す怒り…ずっと許せないというか…思い出す度に腹が立つパターン…そういう時にはどうしたらいいんでしょうか」マジョリアルは引き下がらない。「その場合には口ジカルに考えるんじゃない。その怒りをホールドし続けていて幸せか。何か得があるのか」「それで収まるくらいならその怒りは然程ではないんだよ。怒り続けていて幸せな人は

居ないし、得なことなんてないのは充分解っているけど、それでも収まらない怒りをどう扱うかっていうことだよ」今度はウィザットが引き下がない。「なんじゃ、ワシが責められている様な気分になってきたわい」マグワートは困惑顔で鼻の頭を擦りながら「そういう場合には、その怒りはインナーチャイルドと関連しているかも知れんな。その話しはまた次回じゃ」と言った。



★これまでのお話(1~55話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

www.majotomoe.com 3月30日号につづく!